

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	札幌ファッションデザイン専門学校 DOREME
設置者名	浅井 洋子

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程	ファッション総合学科	夜・通信	1050 時間	160 時間	
	専攻科	夜・通信	570 時間	80 時間	
	夜間科	夜・通信	180 時間	80 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

HPにて公表 <a href="http://www.doreme.ac.jp">http://www.doreme.ac.jp</a>
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	札幌ファッションデザイン専門学校 DOREME
設置者名	浅井 洋子

1. 理事（役員）名簿の公表方法

HPにて公表 <http://www.doreme.ac.jp>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	イミナージュ代表取締役	H28.6.8～ R02.6.7	学校経営に対する アドバイスを期待。
非常勤	石田企画代表	H28.6.8～ R02.6.7	学校経営に対する アドバイスを期待
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	札幌ファッションデザイン専門学校 DOREME
設置者名	浅井 洋子

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画(シラバス)の作成過程については、各学年の担任がカリキュラム案を作成する。このカリキュラム案は、教務委員会の議を経て、理事会に諮り、決議する。</p> <p>公表の時期については、北海道学事課への学則変更届けの受理が完了した後に行われる。</p>	
授業計画書の公表方法	HPにて公表 <a href="http://www.doreme.ac.jp">http://www.doreme.ac.jp</a>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学習成果の評価については、シラバスに明記している。シラバス毎に決められた学習成果の評価について、各授業の既定回数終了後に、学年担任が個別に精査し、担当科目教員と打合せし、単位認定をしている。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本学院では、毎年1月に「:Dcreation」というイベントを行っている。このイベントでは、「展示会」「ファッションショー」「審査会」の3つが行われる。このイベントでは、外部から多くの関係者が集まり、学生が制作した作品や展示手法、プレゼン方法等の評価を行っている。</p> <p>このように、大型のイベントに向けて行われる際に、企画・制作された成果物である学習成果を通して、様々な能力が身についたかどうかの確認を行う事が出来る。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	1月に行われる本校イベントにて公表 HPにて公表 <a href="http://www.doreme.ac.jp">http://www.doreme.ac.jp</a>

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本学院では、毎年1月に「:Dcreation」というイベントを行っている。このイベントでは、「展示会」「ファッションショー」「審査会」の3つが行われる。このイベントでは、外部から多くの関係者が集まり、学生が制作した作品や展示手法、プレゼン方法等の評価を行っている。このイベントにて、作品の提出が出来た者に対して卒業の認定を与えており、適切に実施を行っている。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>1月に行われる本校イベントにて公表 HPにて公表 <a href="http://www.doreme.ac.jp">http://www.doreme.ac.jp</a></p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	札幌ファッションデザイン専門学校 DOREME
設置者名	浅井 洋子

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	HPにて公表 <a href="http://www.doreme.ac.jp">http://www.doreme.ac.jp</a>
収支計算書又は損益計算書	HPにて公表 <a href="http://www.doreme.ac.jp">http://www.doreme.ac.jp</a>
財産目録	HPにて公表 <a href="http://www.doreme.ac.jp">http://www.doreme.ac.jp</a>
事業報告書	HPにて公表 <a href="http://www.doreme.ac.jp">http://www.doreme.ac.jp</a>
監事による監査報告（書）	HPにて公表 <a href="http://www.doreme.ac.jp">http://www.doreme.ac.jp</a>

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
服飾家政		専門課程	ファッション総合学科 デザインビジネスコース	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
2年	昼	1600 単位時間	165 時間	1170 時間	1605 時間	時間 時間
			2940 単位時間			
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
60人内数		58人内数	0人	5人	24人	29人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）授業計画（シラバス）の作成過程については、各学年の担任がカリキュラム案を作成する。このカリキュラム案は、教務委員会の議を経て、理事会に諮り、決議する。公表の時期については、北海道学事課への学則変更届けの受理が完了した後に行われる。
成績評価の基準・方法
（概要）本学院では、毎年1月に「:Dcreation」というイベントを行っている。このイベントでは、「展示会」「ファッションショー」「審査会」の3つが行われる。このイベントでは、外部から多くの関係者が集まり、学生が制作した作品や展示手法、プレゼン方法等の評価を行っている。 このように、大型のイベントに向けて行われる際に、企画・制作された成果物である学習成果を通して、様々な能力が身についたかかどうかの確認を行う事が出来る。
卒業・進級の認定基準
（概要）本学院では、毎年1月に「:Dcreation」というイベントを行っている。このイベントでは、「展示会」「ファッションショー」「審査会」の3つが行われる。このイベントでは、外部から多くの関係者が集まり、学生が制作した作品や展示手法、プレゼン方法等の評価を行っている。このイベントにて、作品の提出が出来た者に対して卒業の認定を与えており、適切に実施を行っている。

学修支援等
(概要) 学習支援については、各科目担当と学年担任の密接な連携により、単位不足等にならないよう、毎回出席状況、授業進捗の確認を行っている。欠席等により授業に出られない場合は、課題や補習を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
19人 (100%)	10人 (53%)	8人 (42%)	1人 (5%)
(主な就職、業界等) アパレル業界			
(就職指導内容) インターンシップ、担任・就職担当者との個別指導、本学院独自の企業説明会を開催。			
(主な学修成果（資格・検定等）) ファッションビジネス能力検定、パターンメイキング技術検定、色彩検定、カラーコーディネーター検定、洋裁技術検定			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
63人	5人	8%
(中途退学の主な理由) 進路変更。体調不足。 入学者は、普通科高校卒業以外に、通信制など、多様な学習形態を持つ高校を卒業して入学をしてくる。まず、朝、学校に来ることがハードルになっている場合がある。これらの学生の対応を、今後は行っていく必要がある。		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任・院長との個別面談。 「継続して学校に来る」ことが出来ない学生がいることから、夏休みや春休みなど長期休みを多少短縮し、水曜日を休みにするなど、通いやすい環境の構築を行っている。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
服飾家政	専門課程	ファッション総合学科 テクニークコース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1600 単位時間	165 時間	1170 時間	1605 時間	時間	時間
			2940 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
60 人内数	58 人内数	0 人	5 人	24 人	29 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）授業計画（シラバス）の作成過程については、各学年の担任がカリキュラム案を作成する。このカリキュラム案は、教務委員会の議を経て、理事会に諮り、決議する。公表の時期については、北海道学事課への学則変更届けの受理が完了した後に行われる。
成績評価の基準・方法
（概要）本学院では、毎年1月に「:Dcreation」というイベントを行っている。このイベントでは、「展示会」「ファッションショー」「審査会」の3つが行われる。このイベントでは、外部から多くの関係者が集まり、学生が制作した作品や展示手法、プレゼン方法等の評価を行っている。 このように、大型のイベントに向けて行われる際に、企画・制作された成果物である学習成果を通して、様々な能力が身についたかかどうかの確認を行う事が出来る。
卒業・進級の認定基準
（概要）本学院では、毎年1月に「:Dcreation」というイベントを行っている。このイベントでは、「展示会」「ファッションショー」「審査会」の3つが行われる。このイベントでは、外部から多くの関係者が集まり、学生が制作した作品や展示手法、プレゼン方法等の評価を行っている。このイベントにて、作品の提出が出来た者に対して卒業の認定を与えており、適切に実施を行っている。
学修支援等
（概要）学習支援については、各科目担当と学年担任の密接な連携により、単位不足等にならないよう、毎回出席状況、授業進捗の確認を行っている。欠席等により授業に出られない場合は、課題や補習を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
19人 (100%)	10人 (52.6%)	8人 (42.1%)	1人 (5.3%)
（主な就職、業界等） アパレル業界			
（就職指導内容） インターンシップ、担任・就職担当者との個別指導、本学院独自の企業説明会を開催。			

(主な学修成果(資格・検定等)) ファッションビジネス能力検定、パターンメイキング技術検定、色彩検定、カラーコーディネーター検定、洋裁技術検定
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
63人	5人	7.9%
(中途退学の主な理由) 進路変更。体調不足。 入学者は、普通科高校卒業以外に、通信制など、多様な学習形態を持つ高校を卒業して入学をしてくる。まず、朝、学校に来ることがハードルになっている場合がある。これらの学生の対応を、今後は行っていく必要がある。		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任・院長との個別面談。 「継続して学校に来る」ことが出来ない学生がいることから、夏休みや春休みなど長期休みを多少短縮し、水曜日を休みにするなど、通しやすい環境の構築を行っている。		



分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾家政		専門課程	専攻科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	800 単位時間/単位	60 時間	510 時間	1170 時間		
			1740 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20人		10人	0人	5人	24人	29人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）授業計画（シラバス）の作成過程については、各学年の担任がカリキュラム案を作成する。このカリキュラム案は、教務委員会の議を経て、理事会に諮り、決議する。公表の時期については、北海道学事課への学則変更届けの受理が完了した後に行われる。
成績評価の基準・方法
（概要）本学院では、毎年1月に「:Dcreation」というイベントを行っている。このイベントでは、「展示会」「ファッションショー」「審査会」の3つが行われる。このイベントでは、外部から多くの関係者が集まり、学生が制作した作品や展示手法、プレゼン方法等の評価を行っている。 このように、大型のイベントに向けて行われる際に、企画・制作された成果物である学習成果を通して、様々な能力が身についたかかどうかの確認を行う事が出来る。
卒業・進級の認定基準
（概要）本学院では、毎年1月に「:Dcreation」というイベントを行っている。このイベントでは、「展示会」「ファッションショー」「審査会」の3つが行われる。このイベントでは、外部から多くの関係者が集まり、学生が制作した作品や展示手法、プレゼン方法等の評価を行っている。このイベントにて、作品の提出が出来た者に対して卒業の認定を与えており、適切に実施を行っている。
学修支援等
（概要）学習支援については、各科目担当と学年担任の密接な連携により、単位不足等にならないよう、毎回出席状況、授業進捗の確認を行っている。欠席等により授業に出られない場合は、課題や補習を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
15人 (100%)	0人 (0%)	3人 (20%)	12人 (80%)
（主な就職、業界等） アパレル業界			
（就職指導内容） インターンシップ、担任・就職担当者との個別指導、本学院独自の企業説明会を開催。			

(主な学修成果 (資格・検定等) ) ファッションビジネス能力検定、パターンメイキング技術検定、色彩検定、カラーコーディネーター検定、洋裁技術検定
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
15人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾家政		専門課程	夜間科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	夜		講義	演習	実習	実験	実技
1年		450 単位時間/単位	105 時間	210 時間	540 時間	時間	時間
			855 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20人		16人	0人	5人	24人	29人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
<p>（概要）授業計画（シラバス）の作成過程については、各学年の担任がカリキュラム案を作成する。このカリキュラム案は、教務委員会の議を経て、理事会に諮り、決議する。</p> <p>公表の時期については、北海道学事課への学則変更届けの受理が完了した後に行われる。</p>	
成績評価の基準・方法	
<p>（概要）成績評価の基準は、各授業科目担当者と、担任によって策定され、教務委員会の議を経て、校長が決定する。</p>	
卒業・進級の認定基準	
<p>（概要）夜間科の場合は、課題の提出を以て卒業の認定としている。</p>	
学修支援等	
<p>（概要）学習支援については、各科目担当と学年担任の密接な連携により、単位不足等にならないよう、毎回出席状況、授業進捗の確認を行っている。欠席等により授業に出られない場合は、課題や補習を行っている。</p>	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
4人 (100%)	0人 (0%)	0人 (0%)	4人 (100%)
<p>（主な就職、業界等） 既に職を持っている方が通っていることから、継続してその職に就いている。</p>			
<p>（就職指導内容）インターンシップ、担任・就職担当者との個別指導、本学院独自の企業説明会を開催。</p>			
<p>（主な学修成果（資格・検定等））ファッションビジネス能力検定、パターンメイキング技術検定、色彩検定、カラーコーディネート検定、洋裁技術検定</p>			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
5人	1人	20%
(中途退学の主な理由) 体調不良。		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任・校長との個別面談		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	施設設備整備費	合計
ファッション 総合学科	130,000 円	540,000 円	210,000 円	880,000 円
専攻科	130,000 円	540,000 円	210,000 円	880,000 円
夜間科	50,000 円	340,000 円	60,000 円	450,000 円
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="http://www.doreme.ac.jp/">http://www.doreme.ac.jp/</a>		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 本学院は、教務委員会を設置している。教務委員会で作成された自己点検・自己評価について、客観性と透明性を高め、教育の一層の充実を図る事を目的として、学校関係者評価委員会を設置している。委員会は、本学院が作成した自己点検・自己評価の結果について検証・評価及び助言を行い、その結果を理事会に報告し、公表するものとしている。学校関係者評価委員会は、外部委員のみで構成され、本学院の教育理念・目標について理解し、人材育成等に有識のある学外の関係者の中から院長が選考し、委嘱している。		
学校関係者評価の委員		
所属	所属	所属
有限会社スージーパーカー	有限会社スージーパーカー	有限会社スージーパーカー
有限会社東陽商事	有限会社東陽商事	有限会社東陽商事
学校法人北翔大学	学校法人北翔大学	学校法人北翔大学
NPO 法人地域対話士協会	NPO 法人地域対話士協会	NPO 法人地域対話士協会
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="http://www.doreme.ac.jp/">http://www.doreme.ac.jp/</a>		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="http://www.doreme.ac.jp/">http://www.doreme.ac.jp/</a>
--